

野庭住宅・野庭団地 未来につなぐ会

令和7年11月21日（金） 15：00～17：00
会場：なごみのば

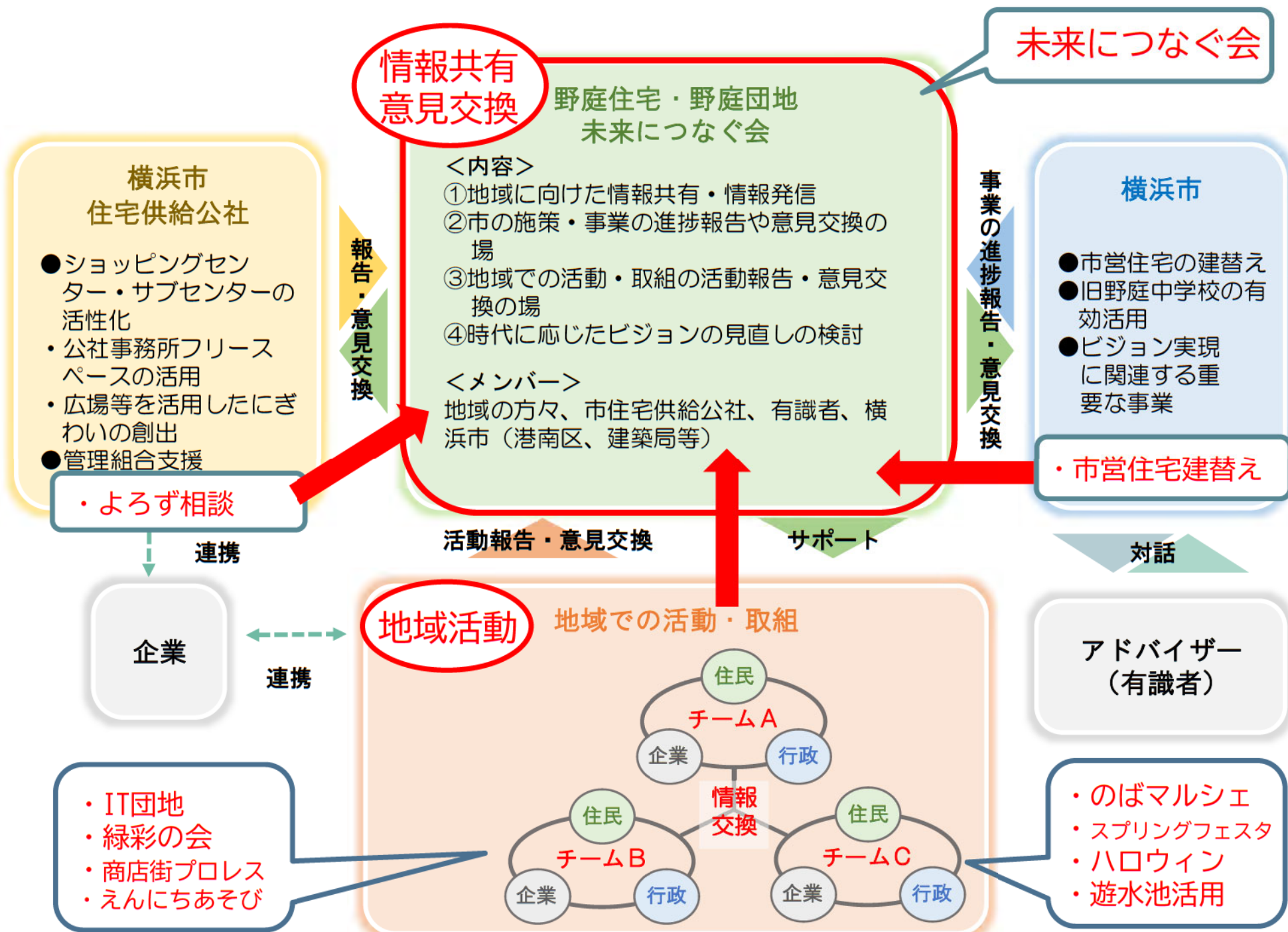
<<報告事項>>

- | |
|----------------------------------|
| 1. つなぐ会の役割について |
| 2. つなぐ会のメンバーについて |
| 3. イベントや取組の報告 |
| 4. 市営住宅の建替事業の進捗状況 |
| 5. 野庭みらいビジョンお手伝いプロジェクト 令和7年度進捗状況 |

<<意見交換>>

- | |
|----------------------------|
| 6. みらいビジョン・つなぐ会の認知度向上について |
| 7. つなぐ会のこれからのあり方について(意見交換) |
| 8. その他、意見交換 |

1. つなぐ会の役割について





野庭住宅・野庭団地みらいビジョン

10年・20年先のまちの将来を考え

【再生の目標】

みんながつくる魅力あるまち野庭

【再生の方針】

活動：地域活動が続けていくための場・仕組みづくり

拠点：気軽に集まり交流できるみんなの居場所づくり

住まい：多世代が住み続けられる住まいづくり

つながり：人・道・移動・情報等の地域の多様なつながり
づくり





再生の方針 「活動」

地域で取り組んでいきたい取組を関係者で議論し具体化しながら、活動の活性化を図ります

実現に向けた取組イメージ(案)

- ① 関係主体の協働による野庭住宅・野庭団地の再生に向けた体制づくりと取組の具体化
- ② まちの魅力を向上させる地域活動の活性化

・えんにちあそび
(のびのびのば園、
なごみのば)



・緑道での活動
(みどりいきいき)





再生の方針 「拠点」

世代を問わず、生活利便機能の強化・充実、生きがいづくりの場の創出・拡充や、新しい価値観・ライフスタイルに合う新たな魅力的な拠点づくりや取組を推進します

実現に向けた取組イメージ(案)

- ①多様な拠点の場づくり
(商業機能の充実、多世代交流の場、働く場など)
- ②住宅の建替えや余剰地活用による新たな機能の導入
- ③身近な小拠点づくり (集会所の地域開放)
- ④にぎわいや利便性を高めるための拠点づくり
- ⑤広場等を活用したにぎわいの創出



- ・にぎわい
- ・利便性
(移動販売)



- ・にぎわい
(のばサブセンターまつり)



- ・にぎわい
(のばマルシェ)



再生の方針 「住まい」

住まい

将来にわたりまちを持続させるため、高齢者が安心して住み続けられる環境を整えるとともに、新たな若い世代を呼び込み、若い世代も住み続けたいまちをつくります

実現に向けた取組イメージ(案)

- ①市営住宅の建替えによる高齢者の継続居住とファミリー世帯の誘導
- ②多様な主体による、分譲団地の管理に係る支援体制の構築及び新たな魅力づくり（IT団地等）
- ③若い世代を呼び込む住み替えの仕組みづくりと住まい方のプロモーション



・住まい
（市営住宅
建替事業）



・住まい
管理支援体制
（公社よろず相談所）

・住まい
（分譲大規模改修）



再生の方針

「つながり」

地域情報の発信により人々の活動等の多様なつながりづくりや、緑道と敷地の一体化や新たな移動手段により、住まいや拠点をつなぎます

実現に向けた取組イメージ（案）

- ① 地域情報を発信するプラットフォームの構築と活動のつながりづくり
- ② コミュニティのつながりを生む緑道沿いの空間整備
- ③ 既存の緑道・道路を活用した新たな移動手段の導入の検討



・つながり
移動手段（シェアサイクル）

・つながり
地域情報発信（団地ホームページ）

2. つなぐ会のメンバーについて

	氏名	ご所属等
会長	黒田 祐輔	野庭団地連合自治会 会長
副会長	黒川 和紀	野庭住宅連合自治会 会長
メンバー	葵 俊亮	株式会社三春情報センター
	仲程 剛	学校法人関東学院のびのびのば園 園長
	小嶋 千英子	学校法人ミネルヴァ学園 野庭幼稚園 園長
	鈴木 皓人	野庭団地 青少年指導員
	大力 洋介	野庭団地管理組合連絡協議会 会長
	長堀 幸平	野庭地域ケアプラザ 所長
	下中村 哲郎	野庭団地地区社会福祉協議会 会長
	播磨 清二	野庭住宅地区社会福祉協議会 会長
	堀部 陽介	野庭団地ショッピングセンター会 会長
	相良 俊行	無印良品 港南台バーズ
	内海 宏	【有識者】株式会社地域計画研究所 代表取締役
	松本 真澄	【有識者】東京都立大学都市環境学部建築学科 助教
	中川 哲也	横浜市住宅供給公社 賃貸事業課経営課長
	山田 暁央	横浜市住宅供給公社 街づくり事業課長
	曾我 直樹	港南区 区政推進課 課長
	小屋畑 育恵	建築局 住宅再生課 課長
	神谷 賢	建築局 市営住宅課 課長

3. イベントや取組の報告

今回も前回同様、皆様で情報交換を行う形式にて

未来につなぐ会の皆様から

「イベントや取組の報告」をお願いいたします

- 1 報告書の内容についてご説明をお願いします。
※ 報告書以外の補足事項や今後の予定があればあわせて報告をお願いします。
- 2 そのほかのメンバーもそれぞれの活動や今後の予定について報告をお願いします。

凡 例

- | | |
|---|--|
|  市営住宅 |  公益施設 |
|  分譲団地 |  公園 |
|  商業・店舗 |  遊水池 |
|  野庭みどり いきいき | |
|  ベンチ 3か所設置 | |
|  移動販売 | |

野庭すずかけ公園

野庭ゆりのき公園

3-8

I 街区

野庭第一
保育園

みどりのまちづくり

○ のば緑彩の会

(野庭団地連合自治会、
のば 緑彩の会など)多世代が住み続けられる
住まいづくり

○100年住めるマンション



(野庭団地管理組合連絡協議会)

交流、まちの活気づくり

○ちびっこ夏祭り・盆踊り
○商店街プロレス
○のばマルシェ



(野庭団地ショッピングセンターほか)

3-1

3-2

3-4

【拠点】
地域ケアプラザ

交流、安心・安全なまち

○ハロウィン イベント
○合同パトロール、防災訓練



(野庭住宅連合自治会、各自治会)

3-7

交流、まちの活気づくり

○秋のふれあい祭り



(野庭住宅連合自治会)

3-6

【拠点】
なごみのば

3-9

3-5

のびのび
のば園

交流

○ふるさとのば 福祉の集い

(野庭団地地区社会福祉協議会
・野庭団地連合自治会)

3-10

交流、まちの活気づくり

○50周年記念イベント



(野庭サブセンター商店会)





名称	商店街プロレス
活動団体	野庭団地ショッピングセンター センター会
取組	10月4日(土)、野庭団地ショッピングセンターに、熱い男たちが今年もチャンピオンベルトを掲げ戻ってきた！ 白熱のプロレスに大人から子どもまで会場は大盛況。小雨で子ども教室は中止も、豪華景品がもらえるじゃんけん大会で大盛り上がり！ 最後はメインイベントの優勝選手と会場の皆さんで「プロレス観るなら大日本！買い物するなら商店街！」の大合唱！「来年も戻ってくるぞ～！」の約束で幕を閉じました！



急遽行われたじゃんけん大会！
豪華賞品をゲット！



優勝選手の掛け声で
「プロレス観るなら大日本！
買い物するなら商店街！」の大合唱！



堀部野庭団地ショッピングセンター
センター会会長、栗原区長、
本間港南区商店街連合会会長





名称	「のばマルシェ」の開催
活動団体	野庭団地連合自治会、のばマルシェ実行委員会
取組	野庭団地連合自治会・のばマルシェ実行委員会主催の「第4回のばマルシェ」が野庭ショッピングセンター前広場等で開催されました。 子どもから大人まで幅広い世代の方が訪れ、ステージの発表や飲食店エリアでの食事、フリーマーケットでの買い物等を楽しみました。 また、今年は横浜銀行跡地の実験的活用「TRYのば」をテスト実施しました。アーティストの作品販売、ミシンのワークショップや地域の方の野庭地域の思い出コーナーなどが設置され、地域の方の交流が深まりました。 毎年、ステージ出演(かつやくのば)で、地域の子どもから大人まで出し物を発表してもらっていますが、今年度は丸山台中学校吹奏楽部3年生のご協力も得て、のびのびのば園の保護者、職員、中学生のコラボ演奏も行われました。



多くの観覧者でにぎわうステージ
(下野庭小マーチングバンド)

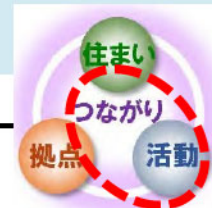


左から 渡邊実行委員長、
黒田連長(野庭団地連合)、
栗原区長、高橋連長(永野連合)



のばマルシェのれんの完成です！





名称	サブセンター50周年 記念イベント
活動団体	野庭団地サブセンター商店会
取組	10月5日(日)、秋の爽やかな青空の下、野庭サブセンター50周年記念イベントが開催されました！ 伊藤商店会会長のあいさつ後、鏡開きで幕を開け、和太鼓Enによる迫力ある演奏に会場が沸きました。 その後に行われたカラオケ大会に10名が参加。のど自慢さながらの熱唱のステージで、会場は笑顔と拍手に包まれた一日となりました。 野庭団地サブセンター！50周年おめでとうございます！



関係者の皆さまによる
鏡開きでイベントスタート！



カラオケ大会優勝の日置さん！
美声を響かせていました！
おめでとうございます！

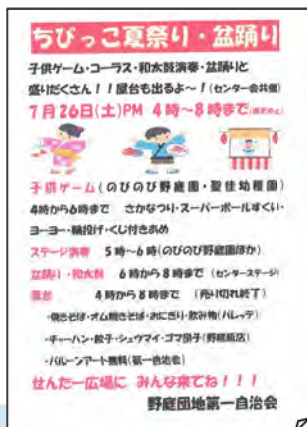


左から栗山区長、
伊藤野庭サブセンター商店街会長、
本間港南区商店街連合会会長

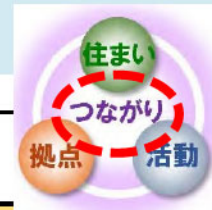




名称	ちびっこ夏祭り・盆踊り（えんにちあそび）
活動団体	野庭団地第一自治会、 関東学院のびのびのば園
取組	2023年度に「えんにちあそび」として、 「関東学院のびのびのば園」と「無印良品 港南台バース」の主催で、 ショッピングセンター広場で行ったイベントですが、 その際に、「なごみのば」・「民生委員」・「主任児童委員」・「野庭団地ショッピングセンター」 ・「野庭団地 青少年指導員」・「横浜市住宅供給公社」 そして卒園児並びに保護者の方々の協力を得て、参加者100人規模のお祭りになりました。 その実績を基に、2024年度は、主催が「野庭団地第一自治会」（共催「野庭団地ショッピングセンター」）となり、食べ物販売等の出店が増え、太鼓の演奏や盆踊りもあり、また参加する団体も増え（他の幼稚園等）、参加者が1000人規模となる大きなイベントとなりました。 そして今年も、7月26日（土）「ちびっこ夏祭り・盆踊り」として開催し、のびのびのば園からは職員と保護者・園児（在園児・卒園児）とで、縁日のブースとステージ発表、そして物品販売で盛り上げてくれました。



夏祭り・盆踊りの様子



名称	「のびのびのば園」の取組み
活動団体	関東学院のびのびのば園
取組	「ちびっこ夏祭り・盆踊り」や「のばマルシェ」を、本園が地域の方々とつながる場とするだけでなく、野庭の地域にいらっしゃる様々な世代・立場の方々をつなぐ場として活用し、その方々の交流の懸け橋になるような役割を担いたいと思います。また、本園の園庭や事業そのものを、地域の「ほっとステーション」として提供し、子育て世代だけでなく、多世代の方々が集い・繋がる場になればと思っています。そのためにも、野庭に関わる様々な団体・企業・公的機関との連携を密にしていきたいと思っています。



サクラの頃の園庭



園庭と園舎



名称	秋のふれあい祭り
活動団体	野庭住宅連合自治会
取組	10月5日(日)、旧野庭中学校を会場に、地域の皆さんが集う「秋のふれあい祭り」が開催されました。 当日は天候にも恵まれ、目標の1,000名を超える、1,240名もの来場者でにぎわいました。ステージでは、野庭住宅の鼓楽彩による和太鼓や、キッズワールドステージによるチアダンス、フラダンスが披露され、特に相模龍王太鼓による迫力満点の演奏・演舞は圧巻でした。力強く美しい太鼓の響きに観客は引き込まれ、子どもたちの可愛らしいダンスには大人たちも笑顔に。 各自治会・団体からの35の出店も盛況で、地域のつながりを感じる素敵なお祭りでした。企画・運営・準備にご尽力いただいた皆さま、本当にお疲れさまでした。



会場の様子
各自治会の出店もにぎわっています



子どもたちのダンス
どのチームも、とっても素敵でした



相模龍王太鼓の皆さまと役員の皆さん





名称	自治会活動
活動団体	野庭住宅連合自治会、野庭住宅地区 各自治会
取組	野庭住宅地区の自治会にて次の活動を行いました。 ・10月 8日(水)～11月26日(水)の間で、合同パトロールを実施中 ・10月26日(水)～11月 1日(日)各自治会にて ハロウィン ・11月 2日(日) 野庭住宅 防災訓練(野庭訓練所にて) 今後の予定 11月30日(日) 市営瀬戸橋住宅(金沢区)へのヒアリング訪問 (建替え時の管理運営委員会の立上げ等の対応について)



役員の皆さん。仮装していて、
どなたかわからないかもしれませんが…(前列右 高綱会長)



パトロールの様子
(区役所・警察とも連携)





名称	野庭みどりいきいき
活動団体	野庭団地連合自治会、のば緑彩の会
取組	〈進捗状況〉 緑道に設置した36カ所の花壇は、長期に渡る猛暑を乗り越えて花々が元気を取り戻してきました。暑さに負けた一部の花の補植を行うとともに、晩秋に行う冬から春を彩る花への植え替えを計画しています。 一方、法面を活用した立体花壇は、防草シートの効果が見えてきましたので、少しずつシートの撤去を行い緑の面積を増やしています。 立体花壇の管理は工法の発案者である「複層ボーダー植栽協会」唐木代表から植栽の提供や手入れ方法について花壇設置直後から継続して支援していただいています。 10月18日に開催した“のばマルシェ”では、緑道を巡回するスタンプラリーの運営に協力し、参加者に花の種と球根をプレゼントしました。



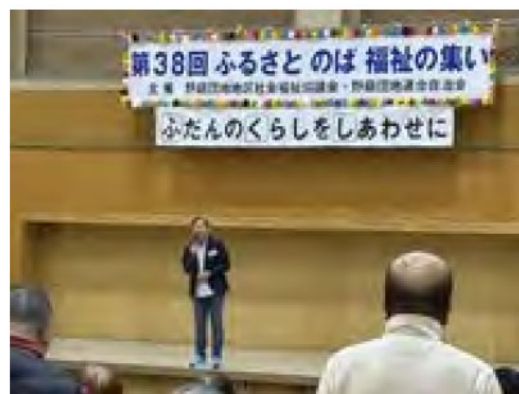
緑道上の花壇


法面を活用した立体花壇
(防草シートを撤去中)



名称	100年マンションを目指して
活動団体	野庭団地管理組合連絡協議会
取組	

取組



Three men are standing in front of a large banner. The banner is white with black and red text. The top line reads '第38回 ふるさとのは 音楽のまち' (38th Nishinomiya City Festival Music Town). Below it, in smaller text, is '主催 西宮市文化振興会' (Organized by Nishinomiya City Cultural Promotion Association). The bottom line reads 'ふたんのくらしを大切に' (Treasure the life of futons). The man on the left is wearing a dark blue jacket. The man in the middle is wearing a grey suit and a white shirt. The man on the right is wearing a dark blue jacket over a white shirt. They are all smiling and looking at the camera.

左から、黒田野庭団地連合自治会長、
栗原区長、下中村野庭団地地区社協会長

4. 市営住宅の建替事業の進捗状況



I・J街区建替事業について

野庭住宅のI・J街区の建替事業の事業者公募を進めてきました。
I街区については予定通り落札者が決定しました。

参加区分	企業名	役割
代表企業	小雀建設株式会社	建設、入居者移転支援
構成企業 (代表企業を除く)	株式会社金子設計	設計、工事監理

J街区建替事業については、入札参加資格を有する全グループから入札辞退届が提出されたため、7月4日に入札を中止しました。

現在、令和8年4月に再入札公告を行う予定で見直しを進めています。
 なお、事業の開始はI街区建替事業から1年のずれとなる予定です。

また、本件については、野庭住宅I・J街区にお住まいの方を対象に、9月7日(日)及び10(水)に説明会を実施しました。



I街区建替事業について

	構造	階数	延べ面積	戸数
住 棟	鉄筋コンクリート造	地上6階	約6,500㎡	130戸
集会所棟 (エレベーター・渡り廊下含む)	鉄筋コンクリート造	地上2階	約400㎡	—



※提案資料として提出されたものであり、実際と異なる場合があります。

5. 野庭みらいビジョンお手伝いプロジェクト 令和7年度進捗状況

CITY OF YOKOHAMA

野庭みらいビジョンお手伝い プロジェクトの進捗状況

横浜市にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課

令和7年11月21日 説明資料



横浜市

■市営住宅の建て替えに向けた野庭の魅力発信



創造性を生かして、野庭の**魅力を発信**



建て替えを予定している市営住宅の壁面を活用し、壁画を描きます。

野庭の緑道を生かしたアートとすることで、野庭の魅力を生かし、住民の皆様のウェルビーイング向上に寄与します。また、製作にはワークショップなどで住民の皆様も巻き込み、今後の拠点形成につなげていきます。

壁画のコンセプト

- ・住民やアーティスト、子どもから高齢者まで様々な交流の機会となる
- ・野庭住宅・野庭団地の魅力を生かしながら、新たな価値を創出することで、地域外からも人が訪れ、にぎわいを生み出す
- ・野庭の緑道を生かしたアートとすることで、自然や植物等との共生、持続可能なまち、まちへの愛着を促進する

令和7年度の取組

■秋まつりでのPR



■秋まつりでのPR



－集計結果－

青色	93票
緑色	74票
紫色	68票
黄色	66票
赤色	59票

青が1位となりましたが、いろいろな色を使ってほしいという要望も多くの方からいただきました！

当日いただいた主な意見

- ・ いろいろな色を使ってほしい
- ・ 色は組み合わせが大事
- ・ 元気が出る絵を描いてほしい

■壁画プロジェクトスケジュール

令和7年	10月	・ 10月5日の秋祭りにてPR ・ 制作する事業者と契約 → <u>株式会社ワコールアートセンター</u>
	11月～12月	・ アーティスト選定 ・ 現場調査、ワークショップ内容検討
	12月～令和8年1月	・ 地域の皆様とアーティストでのワークショップ実施
令和8年	1月	・ 壁画の場所、内容を決定
	1月～3月	・ 壁画の制作（一部は地域の皆様と一緒に描くワークショップを想定）
	3月	<u>壁画完成！</u>

株式会社ワコールが「文化の事業化」を目指して東京・青山にオープンした複合文化施設を拠点として活動するアートセンターです。活動コンセプト「生活とアートの融合」に基づき様々な活動をしており、横浜市でも「象の鼻テラス」の運営や、「鶴見パブリックアートプロジェクト」のディレクションにも関わっています。



■空き店舗を活用した拠点づくりのコンセプト検討



- ・ のばマルシェにて実験的活用「TRYのば」をテスト実施
- ・ 12月頃にも「TRYのば」を本格実施予定

アップサイクルをテーマとした
新たな**創造界隈拠点**

拠点

子どもから高齢者まで、様々な世代がアップサイクルを通じて、交流し、クリエイティビティを発揮できるコミュニティの拠点

- ・ ショッピングセンター
（浜銀跡地：約450㎡）の
活用可能性を調査
 - ・ 活用の**コンセプト**設定
 - ・ **住民の皆様への周知**・まちづくりを考える
きっかけづくり
を委託にて実施
（受託者：株式会社オンデザインパートナーズ）
- ※ 活用実現に向け市住宅供給公社vs市で協力・
連携協定締結

[illegible]

■のばマルシェでの「TRYのば」テスト実施(浜銀跡地の実験的活用)



ー地域の皆様や来街者のみなさまと
対話させていただきましたー

- ・みんなと交流できる場所が欲しい
- ・野庭同窓会を開きたい
- ・おしゃれなマルシェを定期開催したい
- ・クリスマスマーケットを開催したい
- ・カフェ併設のコインランドリーが欲しい
- ・子どもたちが室内で遊べるスペースが欲しい
- ・体験型のワークショップができる場所が欲しい
- ・手芸や、洋裁などができる場所が欲しい

などなど、たくさんのご意見をいただきました。
今後の検討の参考にさせていただきます。

12月頃にも実験的活用「TRYのば」を本格実施予定です。

■次世代や地区外の担い手とつながるためのアップサイクルイベント



取組への理解を促し、
まちづくりの担い手を掘り起こす



6年度に引き続き、

- ・ 地域の人とつながりを作る
- ・ アップサイクル人材・ 次世代の担い手を見つける
- ・ 地元の方の アップサイクル、創造都市施策、アーティスト・クリエイターへの理解促進、 広報

を目的に、地元の既存イベントへの参加や、トークイベント等を実施。

● 想定イベント

- ・ 12月のTRYのばと併せて、みらいトーク第二弾実施予定

6. みらいビジョン・つなぐ会の認知度向上について

<趣旨>

未来ビジョンや未来につなぐ会の認知度向上に向けて、事務局でパネルを作成し、「のぼマルシェ」にて広報活動を行いました。

併せて、前回の会合で話題のありました、「地域の呼び方」についてヒアリングを行いました。

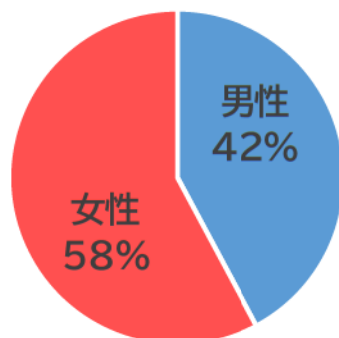


「のぼマルシェ」でのパネル展示

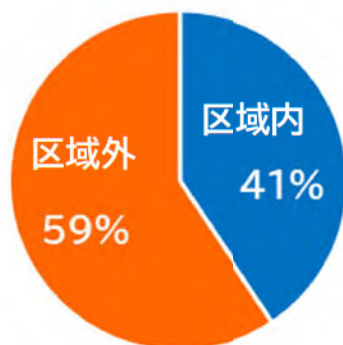


ヒアリング件数：64名（男性27、女性37）

性別構成

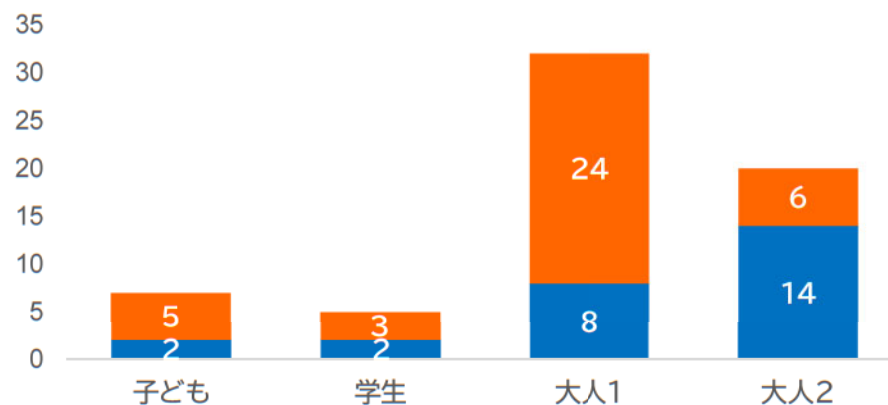


居住地：区域内 28名、区域外 36名



世代構成：

合計	子ども	学生	大人1	大人2
64	7	5	32	20
	10.9%	7.8%	50.0%	31.3%



■：区域内居住者

■：区域外居住者

ヒアリング集計結果

■ : 区域内居住者

■ : 区域外居住者

地区の呼び方・名称

区域内居住者

- ・居住者でも「野庭」で呼ぶ人多数
- ・タクシーでは「野庭団地まで」で頼む
- ・交差点名が「野庭団地」なので馴染みがある

区域外居住者

- ・「野庭」とか「野庭団地」で呼ぶ
- ・賃貸しかないと思っていた

幼児・小学校低学年では
地名での認知度が低く
いつも行く建物・店の名前で呼んでいる

区域内居住者

「地域の中に入って生活していると
地域全体の名前を呼ぶことが無い」
→「ショッピングセンターに行く」「公園に行く」とか

「住宅」「団地」名称を分けて呼んでいる方
数名あり

高齢女性の方で 1 名、
子どものころから「野庭ダン」と呼んでいた



■その他、ヒアリングで得られた情報

○来場者について

- ・今回ヒアリングした、親子連れは区域外居住者が多かった。
 - 近隣の下野庭エリア等（親が野庭団地に住んでいる）
 - 磯子区居住だが、子供が「のびのびのば園」に通っている
- ・中学生グループ ← 友達の吹奏楽を聞きに来た。

○バザー出店者について

- ・バザー出店者は、野庭住宅・団地居住者だが、手伝いは区域外居住者の場合あり
 - 手伝いの人(友人)：横須賀や、日野ほか

○「のば」マルシェの役割

- ★住民にとっての自分たちの活躍・発表の場となっている。
 - ・吹奏楽ほか、子供および保護者にとってのイベント
 - ・「かつやくのば」参加の方：マルシェでは演奏するが、他ではやらない。他で演奏する機会がないので。



7. つなぐ会のこれからのあり方について(意見交換)

- ・つなぐ会の認知度向上や、発信内容・方法について
- ・広報紙での、つなぐ会での意見交換内容等の発信
- ・会への参加メンバーの参加の門戸を広げる

8. その他、意見交換

意見交換



閉会

○ 次回の開催は、 2月頃を予定しています。

【事務局】

横浜市中区本町6-50-10 24階

建築局市営住宅課 事業担当

(担当)松本、岩井、原田、森山

電話: 671-2942

メール: kc-shieiigyo@city.yokohama.lg.jp